

2024年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名： 数学 I 〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：実教出版高校数学 I 〕〔使用副読本：なし〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本	レポ ー ト						
			内 容	ページ	ページ	前/後	回	課 題 内 容	締切日			
前 期	1	1章 数と式	文字を使った式のきまり	10～15		前 半	1	文字を使った式のきまり	5/9			
		整式	整式の加法・減法	16～21				整式の加法・減法				
			乗法公式による展開	22～24								
	2	1章 数と式	因数分解	25～30			後 半	2		整式の加法・減法		
		整式								乗法公式による展開		
	3	1章 数と式	平方根とその計算	32～35						3	因数分解	
		実数	実数	36～40							平方根とその計算	
	4	1章 数と式	1次方程式	42～43							4	1次方程式
		方程式と不等式	1次不等式	43～49								1次不等式
			連立不等式	50				平方根とその計算				
	5	2章 2次関数	1次関数とそのグラフ	56～59				5				2次関数とそのグラフ
		関数とグラフ	2次関数とそのグラフ	60～73						2次関数のグラフ		
6	2章 2次関数	2次関数の最大値・最小値	75～78		6	2次方程式						
	2次関数の値の変化	2次関数のグラフと2次方程式	79～81			2次不等式						
		2次関数のグラフと2次不等式	82～86			三角比						
7	3章 三角比	三角形、三角比	90～95			5	三角比の利用					
	三角比	三角比の利用	96～97				三角比の相互関係					
		三角比の相互関係	98～100				三角形の面積					
8	3章 三角比	三角比の拡張	102～106		6		正弦定理、余弦定理					
	三角比の応用	三角形の面積	107				集合と要素					
		正弦定理、余弦定理	108～115				命題					
9	4章 集合と論証	集合と要素	120～122			6	代表値、データの散らばり					
	集合と論証	命題	123～127									
		いろいろな証明方法	128									
10	5章 データの分析	統計とグラフ、度数分布表	134～139		6							
	データの分析	代表値、データの散らばり	140～147									
		相関係数	148									
11												
12												

2024年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

[科目名 : 数学Ⅱa] [単位数 : 2単位] [使用教科書 : 高校数学Ⅱ] [使用副読本 : なし]

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
前	1	式の計算	整式の乗法	10~13	
			因数分解		
	2	式の計算	二項定理	14~18	
			分数式		
	3	複素数と2次方程式	複素数	20~25	
			2次方程式		
4	複素数と2次方程式	解と係数の関係	26~28		
5	高次方程式	整式の除法	30~33		
		剰余の定理と因数定理			
6	高次方程式 式と証明	高次方程式	34~41		
		等式の証明			
7	点と座標	直線上の点の座標と内分・外分	44~52		
		平面上の点の座標と内分・外分			
8	直線の方程式	直線の方程式	54~61		
		2直線の関係			
9	円の方程式	円の方程式	64~69		
		円と直線の関係			
10	不等式の表す領域	円で分けられる領域 / 直線で分けられる領域	72~77		
		連立不等式の表す領域			
11	三角関数	一般角 / 三角関数	82~87		
		三角関数の相互関係			
12	三角関数	三角関数の性質	88~94		
		三角関数のグラフ			

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	整式の乗法	5/9
		因数分解	
		二項定理	
	2	分数式	
		複素数	
		2次方程式	
	3	解と係数の関係	
		整式の除法	
		剰余の定理と因数定理	
4	高次方程式		
	等式の証明		
	直線上の点の座標と内分・外分	6/6	
4	平面上の点の座標と内分・外分		
	直線の方程式		
	2直線の関係		
5	円の方程式 / 円と直線の関係		
	円で分けられる領域		
	直線で分けられる領域		
6	連立不等式の表す領域		
	一般角 / 三角関数		
	三角関数の相互関係		
6	三角関数の性質		
	三角関数のグラフ		

2024年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名： 数学Ⅱb 〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：高校数学Ⅱ 〕〔使用副読本：なし 〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
後 期	1	三角関数	加法定理	96~98	
			加法定理の応用		
	2	三角関数	加法定理の応用	99~101	
			弧度法		
	3	指数関数	指数の拡張(1)	102~105	
			累乗根		
	4	指数関数	指数の拡張(2)	106~111	
			指数関数のグラフ		
	5	対数関数	対数	112~115	
			対数の性質		
	6	対数関数	対数関数のグラフ	116~120	
			常用対数		
7	微分の考え	平均変化率	126~129		
		微分係数			
8	微分の考え	導関数	130~135		
		接線			
9	微分の考え	関数の増加・減少	136~137		
10	微分の考え	関数の極大・極小	138~142		
		関数の最大・最小			
11	積分の考え	不定積分	144~147		
12	積分の考え	定積分	148~151		
		面積			

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	加法定理	11/7
		加法定理の応用	
		弧度法	
	2	指数の拡張	
		累乗根	
		指数関数のグラフ	
	3	対数	
		対数の性質	
		対数関数のグラフ	
後 半	4	平均変化率	12/5
		微分係数	
		導関数	
	5	関数の増加・減少	
		関数の極大・極小	
		関数の最大・最小	
6	不定積分		
	定積分		
	面積		

2024年度 学習指導計画表

京都長尾谷高等学校

〔科目名：数学 I 演習〕〔単位数：2単位〕〔使用教科書：高校数学 I（実教出版）〕〔使用副読本：なし〕

学期	授業回	項目	教科書		副読本
			内容	ページ	ページ
前	1	1章 数と式	文字を使った式の決まり、整式、	10~21	
		1節 整式	整式の加法・減法、整式の乗法		
	2	2節 実数	乗法公式による展開、因数分解	23~30	
	3	3節 方程式と不等式	平方根とその計算、実数、1次方程式	32~43	
4		不等式、不等式の性質、1次不等式	44~51		
		連立不等式、不等式の利用			
5	2章 2次関数	1次関数とそのグラフ、2次関数とその	56~78		
	1節 関数とグラフ	グラフ、2次関数の最大値・最小値			
6	2節 2次関数の値の変化	2次関数のグラフと2次方程式、	79~86		
		2次関数のグラフと2次不等式			
7	3章 三角比	三角形、三角比、三角比の利用	90~106		
	1節 三角比	三角比の相互関係、三角比の拡張			
8	2節 三角比の応用	三角比の面積、正弦定理、余弦定理	107~115		
		正弦定理と余弦定理の利用			
9	4章 集合と論証	集合と要素、命題	120~129		
		いろいろな証明法			
10	5章 データの分析	統計とグラフ、度数分布表とヒストグラム	134~141		
		代表値			
11		データの散らばり、外れ値、相関関係	142~153		
		仮説検定の考え			
12	まとめ	復習			

レポ ー ト			
前/後	回	課 題 内 容	締切日
前 半	1	文字を使った式の決まり	5/9
		整式、整式の加法・減法	
		整式の乗法、乗法公式による展開、因数分解	
	2	平方根とその計算、実数	
		1次方程式、不等式	
		不等式の性質、1次不等式 連立不等式、不等式の利用	
3	2次関数とそのグラフ		
	2次関数の最大値・最小値		
後 半	4	2次関数のグラフと2次方程式	6/6
		2次関数のグラフと2次不等式	
	5	三角比、三角比の利用、三角比の相互関係、三角比の拡張	
		三角比の面積、正弦定理、余弦定理	
		集合と要素、命題、代表値	
	6	データの散らばり、外れ値	
相関関係、仮説検定の考え			